

社会人への取材活動（2年）

2月16日（木）、2年生が「社会人への取材活動」に取り組みました。社会人への取材活動は、生徒の職業観を育成することともに、将来を見通して普段の生活を考え直す契機とすることをねらいとしています。今回は、29事業所34名の方の協力をいただき、生徒一人一人が、社会人の方にインタビュー形式で仕事に関する様々な質問をし、働くことについて深く学びました。



○今回のインタビューを通して学んだことは、失敗をポジティブに捉えるということでした。私はこれまで失敗をした時、素直になれなかったり、どこか認めたくない自分がいたりしたのですが、社会人の方のお話を聞いて、失敗を認めて、次に活かすということ学びました。これからは、学んだことを糧に夢に向かって頑張っていきたいです。

ありがとうキャンペーン（全校）

3月9日（木）、「ありがとうキャンペーン～ボクらの大掃除大作戦！13thシーズン～」が生徒会行事として実施されました。ありがとうキャンペーンは、生徒会が主体となって、今年度1年間使用した校舎を感謝の気持ちを込めてきれいにするをとおして、愛校心や感謝の気持ちを高めるとともに、学年を越えた生徒間の交流をねらいとしています。それぞれのグループは5年生がリーダーとなり、協力して校舎を掃除することができました。



第3回学校評議員会

3月9日（木）、第3回学校評議員会が開催されました。校長より学校の近況報告及び学校評価の結果報告に続いて、探究活動発表（3年小林香穂さん、地域創生☆政策アイデアコンテスト2022官民連携の部優秀賞「銘仙でまちなかを元気に」）をしました。その後、学校評議員の皆様と各学年の代表生徒が「四ツ葉生に期待すること」「社会で活躍するために」をテーマに懇談を行いました。生徒の感想の一部を紹介します。

○「時間は自分で作るもの。」「失敗はたくさんする。1つのルートがダメだったら、ルートを変えて何度でもやり直す。」「何があっても迷わずGo!」という3つの話を聞いて、未来の自分にできる最大限のことを四ツ葉の生活の中でどんどん成し遂げていこうと思いました。（1年）

○四ツ葉生に期待することは、四ツ葉学園の良いところを受け継ぐことや、今を楽しむことと聞き、すごく期待されているのだと感じました。また、それと同時にその期待に応えなければならないという責任を感じました。自覚や愛校心を忘れずに、将来の夢に向かって、努力し続けようと思います。（2年）

○今回の懇談会で私は一回り成長できた様な気がしています。私は失敗すると思い詰めてしまうような癖がありますが、「失敗という言葉ない。すべては経験になるのだ」という言葉を聞き、私のあの時の失敗は経験となって自分を形作る一部になるという考えが浮かび、悩むよりも切り替えて、「他のチャンスをつかもう!」と思うことができました。（3年）

○印象に残っていることは人とのコミュニケーションの仕方についてです。「どんな時も、まずは“Yes”で受け取ること。そこから自分の主張・意見を言うといい。」とアドバイスをいただきました。私は、時々強く意見を主張しすぎてしまう時がありますが、このアドバイスを意識して良い討論ができるように頑張りたいと思っています。（4年）

○「どうやったら周りが味方になるのか考える」という言葉が印象に残っています。私はこの言葉を、自分が周りからどう見られているのか客観視することが大切であると解釈しました。自分の行動は少なからず他人に影響を与えることを自覚し、その上で、どうしたら周りの人は自分に良い印象を抱いてくれるだろうかと考えることは、社会に出たときに必要とされるスキルだと感じます。わざわざ忖度して、全員に気に入られようとする必要はないけれど、卒業を1年後に控える私たちは、より一層意識していくべきだと考えました。（5年）



キャリアディスカバリー（3年）

3月15日（水）、3年生が東京都内でキャリアディスカバリーを行いました。キャリアディスカバリーは、官公庁及び企業を訪問することにより、働く場としての官公庁及び企業の概要について知るとともに、公衆に奉仕する仕事の内容や企業における仕事の内容について知り、働くことと学ぶことの関連について考える契機とすることを目的としています。今年度は、午前には官庁を、午後には企業を訪問し、理念や仕事の概要の説明を受けた後、質疑応答を行い、将来の夢と現在の学習を結び付け、自分の生き方や在り方を見つめ直すことができましたようです。

キャリアディスカバリー訪問先一覧

午前	午後
国土交通省 〔霞ヶ関〕	富士フィルム 〔六本木〕
農林水産省 〔霞ヶ関〕	SUBARU 〔恵比寿〕
法務省 〔霞ヶ関〕	ispace 〔日本橋〕
公正取引委員会 〔霞ヶ関〕	講談社 〔護国寺〕
警視庁 〔霞ヶ関〕	Maxar Japan 〔六本木〕
文部科学省 〔霞ヶ関〕	セブン&アイホールディングス 〔千代田区〕
財務省 〔霞ヶ関〕	JTB 〔天王洲アイル〕
特許庁 〔霞ヶ関〕	鹿島建設 〔赤坂見附〕
外務省 〔霞ヶ関〕	ニチレイ 〔築地〕

○今回のキャリアディスカバリーでは、実際に働くとはどのようなことなのかを体感できたのはもちろんのこと、私の視野が如何に狭かったのかに気づくことができました。特に Maxar Japan に伺ったときには、オープンオフィスといった環境、成果主義的な働き方等、目に映るものすべてが新鮮で、私の知っていた働き方とは全く異なっていました。おそらく、働くということに関してだけでなく、世界のあらゆるものに同じことが言えるのだと思います。「私の知っていることは、そのことの一部に過ぎない」。だからこそ、視野が狭くなっていないか、多面的に捉えられているかを常に意識して、生活していきたいと心から思いました。

○警視庁では警察官と言う仕事について学びました。最初私は警察官と言ったら町のパトロールや事件の捜査をする仕事だと思っていましたが、鑑識や科捜研、他にも空からヘリコプターを使って探す人や海から船を使って探す人なども警察官の仕事の1種だということがわかりました。他にも警察官の歴史について事件とどのように関わってきたか、また大久保利通暗殺事件で使われた刀などを見ることができました。普段学校で勉強しているだけでは絶対に体験することのできない貴重な経験となりました。企業の講談社では本を作る過程について学びました。普段本を読んでいる中であまりこの本がどのように作られているのだろうなどと思った事はありませんが、今回の話を聞いて本は1冊あたり約1年以上もかけて作られていることがわかりとても驚きました。3年生最後にとってもいい思い出ができました。本当にありがとうございました。

○富士フィルムでは、富士フィルムのこれまでの変化・取り組みなどを教えて頂きました。富士フィルムでは、カメラやフィルムが主要であると考えていましたが、実際にお話を聞くと、現在ではヘルスケアやマテリアルズ、ビジネスイノベーションが主要となり変化しているのだと分かりました。この変化というのは写真フィルムの技術を応用して活かしているのだと知り、時代に適応して進化を続けているのだと思いました。また、富士フィルムでは写真の思い出を大切にし、今もなお、チェキなどの事業を続けていることに信念を感じました。今回3年生最後の課外授業キャリアディスカバリーで、学校では学べない多くのことを学ぶことができ、今後に繋げていきたいと思いました。



みらいDAY II（全校）

3月17日（金）、四ツ葉学園の特色ある教育の1つである「みらい探究」の研究成果の中間報告会を行いました。1年生は「地域創生」を共通のテーマとしたグループ研究の成果を、2年生からは自分が興味のある研究の成果を、同じ学年の生徒だけでなく、他学年の生徒に向けても発表し、質疑応答や意見交流を行い、中高一貫校の特色を生かした、報告会となりました。また、みらいDAY IIに向け、コンテスト等において受賞するなど、対外的に顕著な成果を収めた発表を昼休みに視聴する「みらいWeek」を3月13日から行い、研究の見通しや広がり期待できる工夫をしました。

